

検査報告書表記変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして、報告書の内容を
変更させていただきたく、ご案内いたします。

何卒ご了承賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

■ 実施日

2019年3月29日(金)ご報告分より

■ 変更項目

項目コード	項目名称
8586	男性 AICS (5種)
8587	女性 AICS (6種)

● 男性AICS（5種）、女性AICS（6種）

解析委託先である味の素株式会社より、報告書内容変更の申し入れがありました。

つきましては、以下の点について変更させていただきます。

変更点

- より見やすいプロット記号とするため、表面のAICS値を示すプロット記号が「*」から「●」へ変更となります。
- 各ランクでのがんである可能性【倍率】内の「有病率データ（※1）」が「罹患率データ（※2）」へ変更となります。罹患率データへの変更で、各がん種に即したより正確な説明が可能となります。

※1：岡本直幸：人間ドック 26（3）：454-446（2011）味の素株式会社共同研究プロジェクト提供

※2：国立がん研究センターがん情報サービス：地域がん登録全国推計によるがん罹患データ（1975～2012年）

▼表面

新



現



▼裏面

新

●各ランクでのがんである可能性【倍率】		がんである可能性			
		低い	がんである可能性	高い	
ランク分類	AICS値	ランクA	ランクB	ランクC	
AICS(胃)	胃がん	0.1036%	1/3,088[0.3倍]	1/603[1.6倍]	1/95[10.2倍]
AICS(肺)	肺がん	0.0887%	1/3,342[0.3倍]	1/604[1.9倍]	1/125[9.0倍]
AICS(大腸)	大腸がん	0.1325%	1/1,510[0.5倍]	1/596[1.3倍]	1/92[8.2倍]
AICS(脾臓)	脾臓がん	0.0273%	1/12,744[0.3倍]	1/2,893[1.3倍]	1/316[11.6倍]
AICS(前立腺)	前立腺がん	0.1179%	1/1,885[0.5倍]	1/398[2.1倍]	1/133[6.4倍]
AICS(乳腺)	乳がん	0.1264%	1/1,194[0.7倍]	1/440[1.8倍]	1/198[4.0倍]
AICS(子宮・卵巣)	子宮がん・卵巣がん	0.0858%	1/4,660[0.3倍]	1/794[1.5倍]	1/100[11.6倍]

●各ランクでのがんである可能性【倍率】		がんである可能性		
		低い	がんである可能性	高い
ランク分類	AICS値	ランクA	ランクB	ランクC
AICS(胃)	胃がん	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
AICS(肺)	肺がん	1/3,200[0.3倍]	1/625[1.6倍]	1/98[10.2倍]
AICS(大腸)	大腸がん	1/2,963[0.3倍]	1/536[1.9倍]	1/111[9.0倍]
AICS(脾臓)	脾臓がん	1/2,000[0.5倍]	1/789[1.3倍]	1/122[8.2倍]
AICS(前立腺)	前立腺がん	1/2,222[0.5倍]	1/469[2.1倍]	1/156[6.4倍]
AICS(乳腺)	乳がん	1/1,509[0.7倍]	1/556[1.8倍]	1/250[4.0倍]
AICS(子宮・卵巣)	子宮がん・卵巣がん	1/4,000[0.3倍]	1/682[1.5倍]	1/86[11.6倍]

各種がんの罹患率を基にした場合の、がんである可能性

出典:味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、現在がんであるおよその確率をランク別に示したもので、例えばAICS(胃)では、ランクAでは3,088人に1人が、ランクBでは603人に1人が、ランクCでは95人に1人が、胃がんであることを示しています。

【 】内は各種がんの罹患率を1とした場合の、がんである倍率を示しています。

*罹患率は、2012年の全国年齢階級別推定罹患率（出典:国立がん研究センターがん情報サービス:地域がん登録全国推計によるがん罹患データ（1975年～2012年））に基づき、%表記に換算しています。

現

●各ランクでのがんである可能性【倍率】		がんである可能性		
		低い	がんである可能性	高い
ランク分類	AICS値	ランクA	ランクB	ランクC
AICS(胃)	胃がん	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
AICS(肺)	肺がん	1/3,200[0.3倍]	1/625[1.6倍]	1/98[10.2倍]
AICS(大腸)	大腸がん	1/2,963[0.3倍]	1/536[1.9倍]	1/111[9.0倍]
AICS(脾臓)	脾臓がん	1/2,000[0.5倍]	1/789[1.3倍]	1/122[8.2倍]
AICS(前立腺)	前立腺がん	1/2,222[0.5倍]	1/469[2.1倍]	1/156[6.4倍]
AICS(乳腺)	乳がん	1/1,509[0.7倍]	1/556[1.8倍]	1/250[4.0倍]
AICS(子宮・卵巣)	子宮がん・卵巣がん	1/4,000[0.3倍]	1/682[1.5倍]	1/86[11.6倍]

一般の方が、がんである確率（有病率）を10,000人に10人（1/1000）とした場合の、がんである可能性

出典:岡本直季:人間ドック 26(3):454-466(2011)を改変 味の素株式会社共同研究プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、がんであるおよその確率をランク別に示したもので、一般的に、10,000人に約10人（約0.1%）が、がんであると言われています。例えばAICS(胃)では、胃がんの有病率（一般の方が、胃がんである確率）を10,000人に10人とした場合に、ランクAでは3,200人に1人が、ランクBでは625人に1人が、ランクCでは98人に1人が、胃がんであることを示しています。

【 】内は一般の方の有病率を1とした場合の、がんである倍率を示しています。